

平成 21 年 7 月 24 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都港区愛宕二丁目 5 番 1 号
クレッシェンド投資法人
代 表 者 名 執行役員 轉 充 宏
(コード番号：8966)

資産運用会社名
カナル投信株式会社
代 表 者 名 代表取締役 轉 充 宏
問 合 せ 先 取締役管理部長 伊藤 真也
TEL. 03-5402-8731

継続企業の前提に関する事項の注記に関するお知らせ

本投資法人は、本日、第 15 期（平成 21 年 5 月期）決算短信における継続企業の前提に関する事項について、下記の通り注記することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

平成 21 年 5 月期 財務諸表

サブプライム問題に端を発した金融危機により、世界的に資金調達が困難な状況が続いています。J-REIT の破綻による金融システム及び実体経済への深刻な影響を防ぐために、不動産市場安定化ファンド（官民ファンド）を創設し、J-REIT への資金供給を行うという政策的な動きもありますが、現時点において未だ詳細が確定しておらず、J-REIT の資金調達が困難であるという状況が変わったとは言えない状況となっています。このような環境の中、本投資法人は、貸借対照表日である平成 21 年 5 月 31 日の時点において、平成 21 年 10 月 30 日に償還期限を迎える投資法人債 20,000 百万円が存在しているため、本投資法人には、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しています。

本投資法人は、平成 17 年 3 月 8 日にその発行する投資口を東京証券取引所に上場して以来、稼働率を維持しながら順調に推移して一定のキャッシュ・フローを生み出しており、当期末における総資産有利子負債比率も 44.6%と比較的健全な水準であり、また、資金調達に際して担保に供することが可能な担保権未設定の物件を 37,457 百万円（当期末における鑑定評価額であり、譲渡予定物件は除いています。）保有していることから、安定的な財務運営を行っていくための基礎的な要件は備えていると考えています。

また、当該投資法人債の償還に備え、既存物件の売却等による自助努力を続け、本投資法人が預金口座内に留保している手元資金等と合わせ、12,000 百万円程度の流動性資金を確保している状況です。残りの 8,000 百万円についても、更なる自助努力、新規借入れに向けた銀行等金融機関との交渉、及び資金調達に協力を仰ぐことのできるスポンサーとの提携交渉を進めており、それぞれ交渉は、償還に向けたスケジュール上順調に進んでいるため、当該投資法人債の償還に問題はないと認識しています。

しかしながら、本書の日付時点では、当該投資法人債の償還期限である平成 21 年 10 月 30 日まで 3 ヶ月程の期間があり、資金調達に向けた各種の交渉は、償還に向けたスケジュール上順調に進んでいるものの、契約の締結等は未了となっていることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を財務諸表に反映していません。

以上

- * 本資料の配布先 : 兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会
- * 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.c-inv.co.jp/>